沼津西ロータリークラブ週報

夢 を か た ち に

2008～2009年度
第 18 巻 33号
2009年3月5日

● ｸﾗﾌﾞﾃｰﾏ ●

目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■

インターアクトクラブ報告　　幹事　久松　但

例会場：ブケ東海（12:30点鐘）　例会日：毎週木曜日　第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX　055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメイル●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 844　例会　会長挨拶◆◆

鈴木泰次会長

いよいよ会長職の残りも4ヶ月なりました。皆様方に毎回どのような話をしたら良いか迷います。時事に合った話、自分自身が関心のある話、ロータリーに関する話等々題材はいくらでもあるように思われますが、自分が話をしようとしている内容が、皆さんに関心を持って聞いて頂けるか気になります。

しかし、あれこれ考えているとまとまらなくなります。そこで開き直り、いずれにしても、全ての人が関心を持って聞いて頂ける話は無いと思い、二人でも三人でも聞いて頂ければ良いと思うようになりました。　その話に中に自分自身の普段の考え、思い等を少し入れ、私を理解してもらいたいとの思いも少しあります。　私には、皆様方のお役に立つような卓越した話はできませんが、懲りずに後4ヶ月お付き合い願います。

さて、最近、景気の悪い話ばかりですが、これを好機と捉え、経済、地球環境対策等を実行に移すことで景気を盛り上げ、地球環境を守ることの出来る政策がようやく出てきました。日本のエコ技術は世界のトップレベルにあります。エコ自動車、太陽光発電、浄水技術等々たくさんあります。ただ、価格が高くて普及してないものが多くあります。そこで国の補助金等を使い、生産量を増やし、価格を下げ家庭に普及させることです。人口1億2千万人の日本で普及すれば、世界にも使い勝手の良い、価格も安いメード・イン・ジャパンが世界に波及していきます（残念ですが、紙面の関係で詳しく話すことができません）。

日本の内需も盛り上がり、外需も盛り上がってくるでしょう。そうなれば、世界の景気も良くなり、地球環境も改善されていく希望も持てるでしょう。税金の無駄遣いを止め、将来に希望の持てるものにお金を使うよう、知恵を出し、工夫していかなければならないと思います。

3 月のプログラム

845回 03月19日(木)	18:30　ブケ東海　PET報告 次年度会長・幹事　夜間例会
846回 03月26日(木)	12:30　ブケ東海　外部卓話 社会福祉法人静香会　浅賀貢様

4 月のプログラム

847回 4月02日(木)	18:30点鐘　ブケ東海御殿場（クレアシオンM）花見家族例会：時間変更・移動例会・夜間例会・理事会
848回 4月11日(土)	13:00点鐘　沼津東急ホテル 静岡第三分区IM　沼津柿田川RC
849回 4月16日(木)	18:30点鐘　ブケ東海　外部卓話 地区ﾛｰﾀﾘｰの友委員長
850回 4月23日(木)	12:30点鐘　原町商工会　鯉の放流 奉仕プロジェクト委員会　移動例会

会　　長	鈴木泰次	幹　　事	久松　但
会報委員長	名古良輔	編　集　者	名古良輔

出席委員会報告

●ゲスト

1. 成田みちよ様：天華葬祭代表

★出席報告（会員総数25名）

例　会	会員数	出席数	MU	出席率
844回	25名	19名	－	76%
842回	25名	21名	1名	88%

●欠席者(6名)
後藤　昭、西山幸三郎、尾島康夫、芹澤貞治
重光　純、土佐通孝

●他クラブへの出席者

鈴木泰次、久松　但（2/28　第3回会長、幹事会）
土佐通孝（3/4　富士RC）

●スマイル報告
1. 芹澤和子：誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 芹澤和子：結婚記念日のお祝いありがとうございます。
3. 杉山壽章：結婚記念日のお祝いありがとうございます。
4. 名古良輔：結婚記念日のお祝いありがとうございます。
5. 久松　但：インターアクト設立、ご協力お願いします。
6. 佐野　稔：所用につき、早退させていただきます。
7. 芹澤和子：所用につき、早退させていただきます。
8. 鈴木良則：所用につき、早退させていただきます。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等
①富士宮ロータリークラブ
　3月23日（月）　特別休会
　3月30日（月）　観桜例会　於：浅間大社

2. 連絡事項
①次週の例会は、休会ですので、お間違えのないように、よろしく、お願いします。

卓話

久松　但　幹事

<1>インターアクトクラブの設立について

①南アルプスロータリークラブのケース

2月18日に南アルプスロータリークラブにビジター訪問し、4年前の設立時の話を伺ってきました。南アルプスロータリークラブでは、設立40周年記念の記念事業として白根高校のインターアクトクラブの設立を行ったようです。ロータリークラブ側からの設立要請ということで、ロータリークラブを理解していただくのに1年以上の時間がかかったようでした。

②必要な手続き

インターアクトクラブの設立のためには、インターアクトクラブ組織体一覧表を、地区のガバナー事務所に送付して地区のガバナーのサインを頂き、この書類がクラブに返送された時点で成立となるようです。

③認証式について

南アルプスロータリークラブでは、インターアクトクラブの認証式は、40周年記念式典の中で1時間程度行ったようです。当クラブでは、学校のこともありますので平日の夕方以降、あるいは土日の日中あたりで行うことになると思います。認証式では地区のガバナーの挨拶や高校の理事長等の挨拶、インターアクトクラブのメンバーの自己紹介などを行う必要があるようです。

<2>設立後の活動について

①年次大会（毎年8月上旬）

昨年は、沼津ロータリークラブがスポンサークラブとなって、8月に沼津東急ホテルで開催されました。大会は各インターアクトクラブの持ち回りで行っているようです。

②指導者講習会（毎年12月中旬）

昨年は、焼津南ロータリークラブがスポンサー

クラブとなって、12月に焼津中央高等学校の体育館で開催されました。私も参加してきましたが、内容は午前中、海外研修の報告、午後はテーマ別の検討会といった具合でした。

③インターアクトクラブとRCとの関わり

クラブによって違うようですが、年次大会と指導者講習会だけしか関わっていないというところもあるようです。基本的には高校側の例会に参加したり、ロータリークラブの例会に来て貰ったりということをしているようです。ロータリークラブに来ていただくのは、活動報告や年次報告などのようです。

<3>予算について

①運営費について
クラブによって違うようですが、南アルプスロータリークラブでは年間 10万円だそうです。

②大会等の交通費について

年次大会や指導者講習会の交通費については、ロータリークラブで負担するケースが多いようです。

③海外研修について

昨年はベトナムに行ったようです。この報告が指導者講習会でありましたが、現地の高校訪問や日本大使館の訪問など通常の旅行では味わえないような経験をしてきたようです。このための費用についても、ロータリークラブで半分負担しているケースが多いようです。金額的には1人当たり5万円程度負担しているようです。

以上報告ですが、思ったより予算はかかりそうです。しかし、予算については決まったものはなく、高校側との話し合いで決めれば良いようです。また、インターアクトクラブの例会には、せめて月1度程度でもロータリアンが参加した方が良いようです。

理事会報告

1.協議事項

①4月プログラム
クラブ管理運営委員長　井上武雄君、
プログラム担当　久松但君
・クラブ管理運営委員会の原案どおりとする。

②花見例会について
クラブ管理運営委員長　井上武雄君
・開催日時：4月2日(木)
18:30例会　19:00花見家族例会
・場所：ブケ東海御殿場（クレアシオンM）
・集合：17:20 ブケ東海沼津
・出発：17:30 マイクロバスにて

【予　算】収入：会費
（会員25名）　×4,000円＝　100,000円
会費（夫人 5名）　×2,000円＝　10,000円
食事代より 25名　×2,000円＝　50,000円
クラブ管理運営委員会より　＝　20,000円
合計　180,000円
支出：飲食代　30名×6,000円＝ 180,000円

③4月外部卓話謝礼について
・1万円とする。

④成田みちよ氏の入会について
・承認する。
以上①～④を一括承認

編集後記

昨年8月皆様からご支援いただいたベトナムでの支援活動において奨学金を授与したクエンさんから、支援隊に礼状が届きました。先日オーストラリアからネット卓話をしていただいた北村元さんが送ってくださった彼の礼状を、ぜひお読みください。大釜さんは、奨学金授与隊員のお名前です。

誰かのお役に立っている、という実感は心を豊かにするものです。

==========

「「　蓮の花奨学生　クエンさんからの手紙　」」

大釜さんと家族の皆様の健康と幸福をお祈りいたします。

私は家族から離れて四ヶ月経ちました。今の生活環境は田舎での生活環境と大分異なり、まだその環境になれることが出来ません。私にとってまだ一番良い勉強方法が身についていません。今は大学の寮に住んでいます。一部屋に八人で生活しています。皆はとても仲良くしています。私は枯れ葉剤被害者の子供なので優先的に大学の寮に住まわせて貰っています。

普通の下宿より家賃が安いです。ただ大勢で生活しているので賑やかです。学費は免除されていますので、母にかかる負担も軽くする事が出来ます。私の生活は特に問題は有りませんが、ハノイの物価はとても高いです。

ハノイへ来たばかりの時はとても寂しかったです。私は、母と妹にいつも世話を掛けていたので、今は全て自分でしなければなりません。最初はとても大変でしたが、今は同じ部屋の皆が仲良し家族になっています。

11月の月末に母が妹とハノイの病院へ来て医師に手術を勧められ家族はそれに同意しました。その手術は11月25日に行われました。手術後、妹の快復がとても早く一週間で退院の許可がでました。以上は私の家族の情況です。

大釜さんの家族と会の皆様はお元気ですか？後10日でクリスマスになって2009年がもう直ぐ始まります。家族を代表して皆様のご多幸をお祈りいたします。

最後に、家族に代わって感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。皆様からのお助けがあったからこそ、私達の生活は大分楽になりました。本当に有難う御座いました。この便りがクリスマスの前に皆様に届く事を願っています。

私と家族の皆が、皆様にお会い出来ることを心から願っています。

この手紙が届きましたら、日本語で結構ですので簡単なお返事を頂きたいと思っています。

ファム・ティ・クエン

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

昨年の8月、蓮の花奨学金を受けたニンビン省のファム・ティ・クエンさん。今ハノイの大学で勉強に励んでいます。クエンさんから、手紙が当会に寄せられました。ご紹介します。「すばらしい手紙です」と、翻訳のヴィンさんのお話です。

（お断り：お手紙は昨年の12月下旬に当会に届いていましたが、当会の手違いで気づくのが遅れました。翻訳が出来上がりましたので、掲載しました。訳者はLe Thi Hong Vinhさん（静岡市在住））

（北村　元）

==========

少し長くなりましたが、クエンさんからの手紙を掲載させていただきました。いかがでしたでしょうか。

私も昨年初めてベトナムを訪問し関わりを持つようになりました。昨年10月2日の活動報告で触れた、戦死した若き女医さんが残した日記、「トゥイーの日記」(経済界　刊）を数日前から読み始めました。

生と死が隣り合わせの過酷な日々を懸命に生きた彼女の瑞々しい感性に触れると、年を取るにつれ自分が知らない間に失った大切なものを思い出させてくれます。愛読書になりそうです。

(文責　名古良輔)

沼津西ロータリークラブ週報

夢をかたちに

2008～2009年度
第 18 巻 34号
2009年3月19日

夢 を か た ち に

● ｸﾗﾌﾞﾃｰﾏ ●

目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■

PETS報告　次年度会長・幹事

例会場：ブケ東海　例会日：毎週木曜日
(12:30点鐘)　第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX　055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメイル●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 845　例会　会長挨拶◆◆

鈴木泰次会長

日本は近年、出生率が下がり少子高齢化が進んでいます。その原因はいろいろあると思われますが、晩婚化、経済的負担、子育ての難しさ等々考えられます。他国の様子をみると、経済的先進地域の少子化が進んでいるように見えます。

しかし、フランスではこのところ出生率が上向いているようです。未婚の母や結婚をしない同居カップルを受け入れる社会があり、日本人と結婚観や家族観が違うところがあるように思えます。

フランスでは、同性愛者を念頭に10年前に導入された結婚によらない共同生活契約「連帯市民協約」(PACS)の裾野が広がり、今では契約カップルの約9割が事実婚の異性同士です。

07年の大統領選でサルコジ仏大統領と争った社会党のロワイヤル元家庭担当相もPACS組みです。事実婚や同居のカップルは社会的に認知されています。結婚よりも肩肘張らない共同生活は、少子化対策の効果も生んでいます。フランスで生まれる子供の2人に1人は結婚しないカップルの「婚外子」です。

注目したいのは、結婚・非婚を問わず、共同生活と出産を促す仕組みです。2人なら税金は半分。子供が多いほど手当ては厚く、税金は安い。フランスでは大学まで授業料無償のため教育費も家計を圧迫しないようです。「産めば得する社会」です。

日本では、少子化対策を巡る議論は、出産･子育てと仕事の両立をいかに「支える」かに集中する傾向があります。しかしそれでは、両立に疲れ、保育所費用の捻出と教育ローンに追われる親を大量生産するだけです。日本人はお金がかかるから子供を多く持つのには尻込みしがちですが、フランス人女性は子供を「もっと産みたい」と言う人が多いようです。

我が国も誰もが「家計の心配せずに子供を産み、育てられる社会」の実現を最優先すべきだと思います。

3 月のプログラム

846回 03月26日(木)	12:30　ブケ東海　外部卓話 社会福祉法人静香会　浅賀貢様

4 月のプログラム

847回 4月02日(木)	18:30点鐘　ブケ東海御殿場 (クレアシオンM) 花見家族例会 時間変更・移動例会・夜間例会 理事会
848回 4月11日(土)	13:00点鐘　沼津東急ホテル　静岡第 三分区IM　沼津柿田川RC 曜日変更・時間変更・移動例会
849回 4月16日(木)	18:30点鐘　ブケ東海　外部卓話 地区ﾛｰﾀﾘｰの友委員長 伴野隆一郎様(静岡RC) 夜間例会
850回 4月23日(木)	12:30点鐘　原町商工会　鯉の放流 奉仕プロジェクト委員会　移動例会

会　　長	鈴木泰次	幹　　事	久松　但
会報委員長	名古良輔	編　集　者	名古良輔

出席委員会報告

●ビジター　　無し

★出席報告（会員総数25名）

例　会	会員数	出席数	MU	出席率
845回	25名	16名	－	64%
843回	25名	23名	0名	92%

●欠席者(9名)

後藤　昭、宮島賢次、宮口雅仁、本村文一、西島邦彦、大村保二、尾島康夫、土佐通孝、鈴木良則

●他クラブへの出席者

鈴木良則、芹澤貞治（2/7　米山梅吉記念館）

●スマイル報告

1. 久松　但：井上次期会長、杉山次期幹事、PETSごくろうさまでした。

2. 芹澤和子：クラブのゴルフコンペにて、準優勝と馬券に当たりました。

幹事報告

1.他クラブの例会変更等

①吉原ロータリークラブ

4月09日（木）　4月11日（土）

静岡第3分区IMに変更　於：沼津東急ホテル

4月30日（木）　特別休会

②富士ロータリークラブ

4月01日（水）　ロータリーの森　慈愛の丘肥料作業清掃の為　於：岩本山ロータリーの森　12:30

4月29日（水）　祝日休会

5月06日（水）　祝日休会

③沼津北ロータリークラブ

3月31日（火）　裁量特別休会

④沼津柿田川ロータリークラブ

4月13日（月）→11日（土）に変更

静岡第三分区　IM

4月20日（月）→花見例会

於：淡島菜館にて　18:30点鐘

4月27日（月）→26日（日）

早朝例会　於：柿田川公園清掃　7時点鐘

⑤富士宮ロータリークラブ

4月03日（金）　お花見例会　於：栗倉妙心寺

4月10日（金）→11日（土）

第3分区IMに変更　於：沼津東急ホテル

2.連絡事項

①沼津柿田川ロータリークラブより

◎3月より例会場を変更させていただくこととなりましたので、来場の際にはお間違えのなきよう会員の皆様へのご連絡を宜しくお願い致します。

◎＜メークアップ＞昼食の用意の為、ご来場の際はできる限り当クラブ事務局まで事前にご連　絡下さい。

◎＜例会変更の際のメーキャップ＞新例会場となります。卸商社センター1階の事務所におきまして、メーキャップ受付の対応をさせていただきます。

ホテル・エルムリージェンシーでは受付できかねますのでご注意ください。

◎＜新例会場＞

沼津卸商社センター　組合会館2Ｆ

〒411－0912　駿東郡清水町卸団地203番地

TEL　055－971－6500　FAX　055－973－5754

例会日、例会時間、事務局の変更はございません。郵便物は全て事務局宛にお願い致します。

②4月のロータリーレートは、1ドル＝98円です。

③花見家族例会と、鯉の放流の青表紙を、各テーブルに置きますので、ご記入をお願いします。

卓　話

PETS報告　　次期会長　井上武雄君

2009年～10年度国際ロータリー会長ジョン・ケニー氏は、RIテーマとして「ロータリーの未来はあなたの手の中に」と、決めました。そして、国際ロータリーは、確かな未来を築く為に、7つの項目を掲げた計画を立てました。

①ポリオを撲滅する。

②ロータリーに対する内外の認識と公共イメージを高める。
③他者に奉仕するロータリーの能力の増大を図る。
④質的にも、量的にも会員組織を世界的に拡大する。
⑤ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する。
⑥国際ロータリー内の指導的才能を最大に活用し育成する。
⑦組織全体を通じて維持性と一貫性を保つ為に、長期計画の手順を完全に実施する。

この、長期計画は、RI理事会が承認したものですが、実施するのは、皆さんですと言っています。

2620地区牧田静二ガバナーは、「ロータリーは自前の時間とお金を使ってやるのだから、魅力ある楽しいものでなければ続かない」と考えている。それには、ロータリーの哲学を理解して頂く事、例会や活動が活発で楽しく無駄な時間を過ごしたと思わせないことが、必要だと説明しました。

2620地区飯田祥雄ガバナーエレクトは、「明るく元気の良いロータリーを心掛けましょう」をスローガンに掲げて、ロータリー友人、近隣クラブ等と仲良くしましょう、と呼び掛け、新しく地区研修委員会を設立させて、役割として各クラブ委員会活動を活発化させたいとのことでした。

会長幹事は、クラブ活動を活発にする様、努力をする。そして、研修委員をリーダーとして、教育指導させる体制づくりを行い活発な活動をするという事を、理解させてもらいたいとの事でした。

今迄、ロータリー活動、日程について、余り詳しくはなかったのですが、何となく、年間日程や活動の方針は少し理解できた様な気がする。有意義なPETSだったと思います。

PETS報告　　次期幹事　杉山壽章君

いよいよ、始まったかなって感じです。緊張と不安でいっぱいで道中の長い事、といいながら行きはよいよい帰りは怖いって感じです。

3月15日次期会長（幹事）研修セミナーが山梨の甲府シティロータリークラブの主催で行なわれました。会場は常盤ホテルで、すばらしい会場でした。2620地区は83クラブから81クラブに減少しているのが現状です。参加人員162名の出席で行なわれました。

2008～2009年度の牧田ガバナーは、「ロータリークラブはどこでも大変厳しい問題を抱えている、それは会員の減少と高齢化の問題である」と切り出し会員の増強を訴えていました！地区全体で純増83名でしたと報告がありました。

飯田ガバナーエレクトによると、サンディエゴの国際協議会（530組のガバナーエレクト）の中で小集団討議が有意義で楽しく、同志の友情が深まったそうです。クラブ組織の中でも小集団討議は私は必要だと思いました。組織の中では何々部会（小集団）があり、そのメンバーで話し合い、意見交換をし同じ目標を持って1年間過ごせたらいいと思います。飯田ガバナーエレクトのテーマは、「明るく元気の良いロータリーを心掛けましょう。」です。

RIの会長は、スコットランド出身のジョン・ケニー氏です。RIのテーマは「ロータリーの未来はあなたの手の中に」です。各クラブが自由の意思に基づいて責任を持って活発に活動することと、ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調していたそうです。

「大恐慌の中でロータリー活動も原点（職業奉仕）に戻りなさいよ！」ということです。また、「2009～2010年　第2620地区組織図（案）」の中で、またひとつ委員会が増えたような気がします（私が知らないのかもしれません）。また、地区研修委員会、各クラブの研修リーダーを作って欲しいという要望がありました（私個人の意見を言わせてもらうと少人数のクラブでは出来っこないと思います）。

もうひとつお願いがありました！

世間一般によく読まれる本ベスト3はよく皆さんも聞くと思いますが、読まれない本ベスト3には、「ロータリーの友」「ロータリー月刊誌」が入るそうです。参加者162名で上記の本を読んだ人は1名～2名でした。もう少しロータリーの本を読んで欲しいそうです！

これからロータリーの勉強をし、次期会長井上さんの足を引っ張らないように、又、クラブの為に頑張りますので皆様ご指導、ご協力をお願いします。

編集後記

3月24日に行われたWBCの決勝には、日本全国が沸き立ちました。日本人が日本人であることを再確認した一日ではなかったでしょうか。

勝利のためにチームを一つにまとめ上げた原辰徳監督の指導力、統率力に敬服しました。

はっきりとした目的を持つ集団というのは、美しく、また強いものです。構成員にどれだけしっかりと目標を自覚させられるかどうかが、優れた指導者であることの第1条件ですし、成功へのファースト・ステップではないでしょうか。

PETSの報告を拝聴しながら、ロータリークラブも同様ですし、次年度も楽しく活動できれば、と願った次第です。

(文責　名古良輔)

----------2月分出席一覧 ----------

後藤（ 0 ）	久松(④)+3	井上（ ④ ）	栗原（ ④ ）	宮島 （ ④ ）	宮口 （ ④ ）	本村（ 3 ）
名古 （ ④ ）	西島（ 3 ）	西山（ ④ ）	大村（ ④ ）	尾島（ 3 ）	佐野（ 2 ）	芹澤貞(④)+1
芹澤和(④)	重光（ 3 ）	杉山了（ ④ ）	杉山真（ 3 ）	杉山壽（ 3 ）	鈴木博（2， 2）	鈴木泰(④)+1
鈴木良(3,1)+1	土佐（ ④ ）	植松（ ④ ）	渡辺（ 3 ）			
			例会出席％ 84.00 ％		地区報告％ 87.00 ％	

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)＋超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。

沼津西ロータリークラブ週報

夢をかたちに

2008～2009年度
第 18巻 35号
2009年3月26日

● ｸﾗﾌﾞﾃｰﾏ ●

目指そう、増強と四つのテスト

■■ 本日のプログラム ■■

社会福祉法人静香会 理事長 浅賀貢様

例会場：ブケ東海（12:30点鐘）　例会日：毎週木曜日　第三木曜日：18:30

事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメイル●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 846 例会 会長挨拶◆◆

鈴木泰次会長

3月は識字率向上月間です。「ロータリーの友」3月号に関連記事が掲載されています。それによりますと、識字率と貧困は密接な関係にあります。

世界銀行では1日1ドル以下で生活している人々を「最貧困層」、2ドル以下で生活している人々を「貧困層」と定義しています。2001～2005年の世界銀行の調査報告書によると11億人が1ドル以下、27億人が2ドル以下で生活しています。

また、1,100万人の子供たちが、5歳の誕生日を迎えることなく亡くなっています。さらに8億人が貧困のために毎日お腹をすかせています。

「識字」は社会経済、並びに政治的な発展を最も反映しています。世界のどのあたりに非識字者が多いいかを見てみますと、インド30.99%、中国20.10%、サハラ砂漠以南のアフリカ15.34%となっています。全世界の大人の27%が非識字です。アフリカ大陸を例に取ると、そこで暮らす人々の50%が非識字です。また、世界の非識字者の3分の2が女性です。これはとても危険なことです。なぜならば女性は子どもに接する機会が多く、母親が非識字であればその子どももまた非識字になる可能性が大きくなります。

これらの地域に住む女性たちは、書いたり読んだりすることができません。母親が文字を読めないために、毎日何百万人もの赤ちゃんが命を落としています。

また妊婦が十分に自分の体を管理することができなければ、おなかの中の子どもの脳の発達に悪い影響を与えます。脳が十分に発達しなければ、その子どもの健康状態もよくなりません。
以上のことからも、世界のすべての子どもたちが学校に行き教育を受けられるようにすることが、貧困をなくし健康的な生活を送ることができる第一歩であると思います。そのために、国際連合も、国際ロータリーも識字率の向上に力を入れています。

これも、我われロータリークラブの大きな国際奉仕の一つだと思います。

4 月のプログラム

847回 4月02日(木)	18:30点鐘 ブケ東海御殿場（クレアシオンM）花見家族例会・時間変更・移動例会・夜間例会・理事会
848回 4月11日(土)	13:00点鐘 沼津東急ホテル 静岡第三分区IM 沼津柿田川RC 曜日変更・時間変更・移動例会
849回 4月16日(木)	18:30点鐘 ブケ東海 外部卓話 地区ﾛｰﾀﾘｰの友委員長 伴野隆一郎様(静岡RC) 夜間例会
850回 4月23日(木)	12:30点鐘 原町商工会 鯉の放流 奉仕プロジェクト委員会 移動例会
4月30日(木)	裁量休会

会長	鈴木泰次	幹事	久松 但
会報委員長	名古良輔	編集者	名古良輔

出席委員会報告

●ゲスト

1, 浅賀　貢様：社会福祉法人静香会　理事長

●ビジター

1. 鈴木一郎様：沼津RC
2. 勝呂　衛様：沼津RC
3. 内田文喬様：沼津北RC

★出席報告（会員総数25名）

例　会	会員数	出席数	MU	出席率
846回	25名	20名	－	80%
844回	25名	19名	2名	84%

●欠席者(5名)

後藤　昭、本村文一、鈴木良則、植松　正
渡辺亀一

●他クラブへの出席者

鈴木良則（3/24 沼津北RC）

●スマイル報告

1. 尾島康夫：誕生日のお祝い有り難うございます。
2. 重光　純：誕生日のお祝い有り難うございます。
3. 大村保二：結婚記念日のお祝い有り難うございます。
4. 杉山真一：結婚記念日のお祝い有り難うございます。
5. 土佐通孝：結婚記念日のお祝い有り難うございます。
6. 大村保二：所用につき、早退させていただきます。
7. 西島邦彦：所用につき、早退させていただきます。
8. 佐野　稔：来月は、ドサ廻りしてきますので、欠席が多くなり、ご迷惑お掛けいたします。又、本日は、早退させていただきます。
9. 尾島康夫：ゴルフコンペ優勝し、賞品、有り難うございました。
10. M.Bテーブル：テーブル会残金です。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①静岡南ロータリークラブ

4月07日（火）　お花見例会　於：浮月楼　午後6時より　メークアップの受付は、11：30～12：30の間、中島屋八幡ガーデンズの2階ロビー

2. 連絡事項

①次週は、花見例会です。参加の方は、17時20分にブケ東海沼津に集合です。

17時30分にマイクロバスで出発です。お間違えのないよう、お越し下さい。

外部卓話

社会福祉法人静香会　理事長　浅賀　貢様

只今、ご紹介頂きました静香会の浅賀でございます。本日は、このような機会を頂きまして、誠にありがとうございます。

社会福祉法人静香会は、昭和63年に前理事長の尾崎和治氏によって創立され、平成元年に知的障害者の更生施設「悠雲寮」を建設し、50名の利用者を受け入れ開設したのが始まりでした。その後多くの関係者の要望により、現在では6施設となり、利用者も120名を超えるに至りました。以下各施設の事業内容について紹介します。

生活介護事業は、日中活動の場として常時介護等を必要とする障害者に対して、食事、排泄などの日常生活上の支援を行っている事業で、現在68名が利用されています。

施設入所支援事業は、通所する事が困難な障害者に対して、住まいの場を提供し、入浴、排泄、食事などの介護、支援を行っている事業で、現在51名が利用されていますが、その大半が重度者であり、また加齢化と障害の重度化に伴い、日々の健康管理が最大の目標となっています。

知的障害者通所授産施設「ほほえみ」及び精神障害者通所授産施設「みのり工房」は、いろいろな作業を通じて自立に必要な基本的生活習慣の確立と社会復帰の促進を図るための指導訓練などを行っており、現在55名が利用されていますが、これまで10人の利用者が就職されています。

早いもので、最初の悠雲寮を開設してからおかげさまで20周年を迎えることができました。20歳で入所された利用者は40歳になっています。昨年みんなで20周年を祝いました。20年の間にはいろいろなことがありましたが、みんな元気で頑張っています。今後とも皆様方のご指導、お力添えをお願い申し上げまして終わりとさせていただきます。貴重な時間ありがとうございました。